

第 43 回理事会 議事録

1.開催日 2024年5月18日(土) 14:00:~17:30

2.開催方法 ZOOMによるオンライン会議

3.理事 19名中17名が出席し、定足数を満たした。

(出席) 愛場庸雅 村越 真 鹿島田浩二 高島和宏 信原 靖 奥田健史 糸 早穂

小林 力 佐藤大樹 源後(皆川)美紀子 大野(山本)徳子 市橋国之 吉村年史 市川俊介 野中好夫 茅野耕治
中野智美

(欠席) 大石 遥 加納尚子

監 事 (出席) 齋藤宏顕 中川義宏 (欠席) 斎藤和助

顧 問 (欠席)前田(大里)真理子

事務局 小野賢二 上松典子(記録)

議 長 定款第32条により、愛場理事を指名した。

・愛場議長は議長就任にあたり、表決には加わらないこと、但し賛否同数の際に表決を行うことを表明した。

従って今理事会での愛場議長の表決は全議案棄権票として扱う。

・会議に先立って進行に関して村越理事より説明がなされた。

意見交換・討議事項において、発言できなかった意見については、google フォームにて項目ごとに意見を吸い上げ、閲覧も可能とする。

審議事項

第1号議案 2023年度事業報告書案、収支決算書の承認および内部監査報告(愛場副会長、監事)

1.2023年度事業報告書(事務局)(資料1:PDF)

例年通りの項目で事業報告書を作成。各委員会からの報告書も事業報告としてあげている。今年度の取り組みとして寄付者について記載した。

2.収支決算書(財務諸表)(事務局)

2023年度は赤字決算(約200万円)

理由・寄付金収入が前年度より減

- ・全日本リレーが赤字
- ・競技関連事業の支出増
- ・普及指導関連費の支出増 前年度より通信運搬費、組織育成費も高い

3.内部監査報告書(齋藤監事)

齋藤宏顕監事より以下の3点について監査報告があった

- ① 業務執行状況 会議体、議事録の保管、引き継ぎの徹底、事業計画と事業報告の実施状況について
- ② 寄付金の運用 規程に沿った運用への改善、寄付金に関する開示、使途指定寄付金の運用について 税額控除法人として維持出来る要件の確認、などの課題を検討してほしい
- ③ その他 公認大会への対応、処置について
- ④ 齋藤和助監事より指摘のあった消費税の会計システムと支払い金額の相違については、猿渡会計士に確認し正しく計上されており問題はないことが確認された(事務局)

以上、審議の結果、出席理事総数17名のうち賛成16名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第2号議案 ジュニア委員会の強化委員会への統合と小委員会化の承認(鹿島田業務執行理事:強化担当)

今後のジュニア競技活動の活性化に向けてより実践的な活動を強化していく為に、強化委員会内にジュニア小委員会を

作成し、従来のジュニア委員会の機能を統合したい

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 15 名、反対 0 名、棄権 2 名により原案を承認した。

第 3 号議案 2024 年度委員会委員の承認(愛場副会長)

委員会委員選考委員会(メンバー:副会長・業務執行理事(愛場庸雅、信原靖、高島和宏)、監事(齋藤宏顕)、外部有識者(飯田研吾弁護士)、女性委員会(松本萌恵)、顧問・ミネーション WG 座長(大里真理子)、事務局長(小野賢二))において 2024-25 年度各委員会委員候補者、委員長候補者が下記の通り報告された。

委員会名 ◎委員長 ○副委員長

強化 ◎稲葉 英雄、○入江 崇、寺嶋 一樹、稲田 旬哉、鹿島田 浩二、藤井 範久、尾上 秀雄、西脇 正展、石澤 俊崇、寺嶋 貴美江、宮本 樹

スキー○ ◎石原 拓巳、高島 和宏、大里 真理子、信原 靖、三澤 儀男、西方 美羽、高橋 美和、寺嶋 一樹、木村 佳司、山本 賀彦、古田島 貴之、高木 一人、湯上 麻貴、高島 怜也

MTBO ◎嶋岡 雅浩、○阿部 陵、加納 尚子、綾野 桂子、大類 亜美里

トレイル○ ◎伴 毅、荒井 正敏、茅野 耕治、岩田 健太郎

AD ◎落合 公也、樋口 一志、西嶋 就平、伴 毅

普及・指導 ◎信原 靖、松澤 俊行、小泉 成行、村越 真、田島利佳、大西 浩、浦野 弘、小暮 喜代志、友田賢吾
地域活性化 ◎新帯 亮、信原 靖

危機管理・コンプライアンス ◎愛場 庸雅、○大里 真理子、村越 真、天野 仁

女性 ◎皆川 美紀子、高野 由紀、植松 裕子、糸 早穂、落合 志保子、加納 尚子、中村 茉菜

総務 ◎木村 佳司、大里 真理子、信原 靖、糸 早穂

アスリート ◎寺垣内 航、○堀田 遼、○菅谷 裕志、加納 尚子、岩田 健太郎、尾崎 弘和、稲毛 日菜子

競技 ◎藤井 範久、仁多見 剛、緒方 賢史、楠 健志、西村 直哉、田中 宏明、堀 裕多

地図 ◎中村 憲、○H 下 雅広、田中 徹、高島 和宏、羽鳥 和重、中村 弘太郎

国際 ◎山本 賀彦、落合 公也

WMG2021 関西 JOA 実行委員会 ◎山西 哲郎、○尾上 俊雄、○平島 俊次、愛場 庸雅、高村 卓、永田 実

全日本大会 ◎糸 早穂、西村 徳真、石澤 俊崇、宮西 優太郎、坂野 翔哉、落合 公也、稲葉 英雄、山川 克則、寺嶋 一樹、木村 佳司、立松 空、堂垂 悠人

スプリント ◎藤本 拓也、笠原 健司、西下 遼介

全日本リレー ◎高村 卓、村越 久子、酒井 克明、佐藤 大樹、平島 俊次、谷 秀司

2025 デフリンピック準備委員会 ◎木村 佳司、広江 淳良、天明 英之、村越 真、野中 好夫、奥田 健史

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 4 号議案 JSC スポーツ団体選手強化活動助成金配分額の承認(鹿島田業務執行理事:強化担当)

2023 年度に JOA より申請した、JSC のスポーツ団体選手強化活動助成金(支給総額 200 万円)の配分として、2022 年 6 月の理事会において承認されたガイドラインに従い、以下の通り配分する。

スキー○ /47 万円 MTBO /47 万円 フット○ JWOC/43 万円 フット○ WOC/43 万円 デフ強化活/20 万円

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 5 号議案 日本ランキング規則改定の承認(糸業務執行理事:全日本大会委員長)

日本ランキング規則において以下 2 点を改訂する。

(1)3.1 項、3.2 項 インカレー一般クラス最上位クラスをランキング対象に変更(フォレスト、スプリント、年齢別共に)

(2)4 項 女子のポイント算出を 2 レースから 3 レースに変更(フォレスト、スプリント、年齢別共に)

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第6号議案 「パラスポーツ推進委員会準備ワーキンググループ(仮称)」設立の承認(野中理事)

「パラスポーツ推進委員会(仮称)」設置に向けたワーキンググループを設立する。

名称に「パラ」という用語を使用することについて質問があり、委員会設立時には適切な名称を使用することにする。

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第7号議案 定款改訂を総会上程および各運営規則改訂の承認(桑業務執行理事:総務担当)

定款:法務局の指摘による改定、重要規程の明記および現状に合わせた変更

社員総会運営規則および理事会運営規則:上記の定款に伴う規則改訂、および文言修正

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第8号議案 認定資格規程およびNI規程改訂とNI内規制定の承認(信原業務執行理事:普及指導担当)

認定資格者およびNIの公示に関する条文をそれぞれ追加

複数あった内規の1本化およびNI規程で定める基準の明文化

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第9号議案 会員支援規程改訂の承認(信原業務執行理事:普及指導担当)

「会員支援に関する規定」の支援金分配方法の改訂、および附則記載内容を本文に記載。その他文言の修正。

<改訂案>

*1会員あたりの最大支援金額を次の式により決定する。9万円－(競技者登録者数^{*1}[人])×5,000円

*1 競技者登録者数とは、前年度の年齢 19 歳以上の登録者数とする。ただし学連登録は含まない。

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第10号議案 会員支援に関する施行細則改訂の承認(信原業務執行理事:地域活性化担当)

旧「会員支援に関するガイドライン」の4項の補足2に記載されていた内容が「会員支援に関する施行細則」に移行した際に抜け落ちたので第4条第7項に追記。

「会員支援に関する施行細則」の「別表1」について不備を修正。

「会員支援に関する施行細則」の「別表2」について学連登録者に対して会員支援金が無いことを追記。

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第11号議案 山形県オリエンテーリング協会再入会の承認(信原北海道・東北ブロック理事)

<経緯>H15、H16の会費未納H17～H20は各1万(計4万)入金 H21 3/15 退会勧告 H21 5/10 退会

今年度4月に再入会の希望があり、入会届が提出された。

定款第7条第1項、第8条第1項、入会・大会に関する規定第5条第1項により入会金納入の免除が適用される。

年会費に関しては、会員支援に関する規程附則2により復活会員で支援必要会員には10万円を3年間支援。

この件に関しては、「過去に未払いがあり退会した会員に対し、未払いの清算はしないのか?また支援に関しては他県に比べて不公平ではないか?」という意見が出された。JOAの全体の方針や財政基盤の弱小の協会への支援策なども整理し、今後も継続審議とするのが望ましいということになった。

第12号議案 委員会規程および委員候補者選考規程改訂の承認(信原業務執行理事)

委員候補者選考委員会を開催後に、選考委員会より指摘された内容に合わせての規程の変更

⇒ジュニア委員会を小委員会へ変更することによる規程の変更。

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 13 号議案 基本財産規程改訂および細則改訂の承認(村越副会長)

第 42 回理事会第 3 号議案で承認された、「基本財産に関する規程および細則ならびにその関連する定款改訂」についてその後会計士(猿渡氏)より、基本財産の運用が適切ではない、というご意見をいただいた。それを踏まえ基本財産を取り崩し、特定資産に繰り入れた後に運用する、という内容に定款を改訂し、総会へ上程したい。

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 14 号議案 表彰規程改訂の承認(衆業務執行理事:総務担当)

推薦時期の変更→受賞年度→推薦年度 →毎年度当初→毎年度末まで

表彰選考委員会の明文化 構成員=実質は業務執行理事連絡会とする

その他文言等修正

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 15 号議案 倫理規程改訂の承認および危機管理・コンプライアンス委員会規程改定の承認(愛場副会長)

本規程対象者の更新、規程・規則名称の訂正 指導者を認定資格者へ変更

倫理委員会の開催手順等の明文化、それに伴う条文番号の変更

その他文言等修正

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 16 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 16 号議案 組織育成費Ⅱ廃止の再承認(愛場副会長)

組織育成費Ⅱの廃止を徹底し、イベントディレクタ、インストラクタの認定料の各会員への還元を、2025 年度から無くす

<経緯>2016 年 2 月の理事会で、「組織育成費は廃止」が決定された。

組織育成費Ⅱ(指導員登録費から一部を還元する)については、廃止が行われず今日まで還元が継続されていた。会計チェックが行われていなかった事務的ミスである。

<今後の方針>2016 年の理事会決定通り、「組織育成費は廃止」を順守する。また 2021 年 12 月の理事会決定を今回破棄し、イベントディレクタ登録料からの会員還元を廃止する。会員へは、早急に説明と謝罪を行う。

組織育成費Ⅱの還元は資格取得へのインセンティブになっている点や各協会の予算への影響等の意見も出された。

以上、審議の結果、出席理事総数 17 名のうち賛成 12 名、反対 0 名、棄権 5 名により原案を承認した。

報告事項

1)IOF 理事候補者への杉山隆司氏の立候補について(村越副会長)

村越副会長より 2024 年 6 月に改選される IOF 理事に、杉山隆司氏を推薦したとの報告があった

2)アジアオリエンテーリング協会設立準備状況(村越副会長)

2024 年 4 月 16 日開催の準備会議において、以下のように定款、役員等が承認された。

会長:Shin Murakoshi(JPN)、副会長(中央アジア):Bolat Abishev (KAZ)、同(東アジア):Yang Dong - Steve (CHN)、同(東南アジア):Mahardika Eduardo (IND)、会計:John Yang (KOR)、事務局長:Eugene Chow (SGP)、法人登記はシンガポールにて。

3)秋篠宮皇嗣妃殿下の富士山麓大会等へのご参加(村越副会長)

4)2023 財務状況報告(村越副会長)

概ね 200 万円の正味財産の減少(赤字)

・寄付金の減少 120 万円

・普及指導関係費:学連の個人会員に JOA ニュースを送付するようにしたため、25 万円程度増加

・助成金の期ずれ

・全日本リレーでの赤字 60 万円程度

5)アジアジュニアユースキャンプ開催(村越副会長)

日時:2024年8月23日(金)~29日(木)(6泊7日)長野県

6)2021-2023年度全日本委員会活動報告(糸業務第執行理事)

4/24に開催された全日本ミドルロング報告会について:55名の参加があった。

大会への協力の方法について:県協会にはテレイン情報の提供などをご協力いただきたい。

今後は助成金を使わず、赤字を出さない運営を目指していきたい。

7)普及担当業務執行理事報告(信原業務執行理事)

<普及指導委員会で検討されている事項>

・各認定資格者について(ターゲット、活躍の場、それぞれの関係)

・JOAの登録制度の検討(競技者登録、認定資格者など)

・普及方針の再検討(パーマネント、100キロコンペ)

<地域活性化委員会で検討されている事項>

・正会員のミッションについて

・会員支援金の収集方法の変更、会員支援金の分配方法の再検討、学連経由の競技者登録者の支援金

8)JSC 助成金報告(令和5年度、令和6年度)(事務局)

令和5年度 4,900,000円 令和6年度 6,321,000円

9)ふるさと新宿区わがまち応援寄附金報告(令和5年度、令和6年度)(事務局)

令和5年度 1,984,000円 令和6年度 1,106,000円

意見交換・討議

1)ふるさと登録を利用した会員支援に関する改訂の提案(信原業務執行理事:地域活性化担当)

ふるさと登録をより活性化し、地域を活性化するための支援策として、ふるさと登録者は、競技者登録料の会員への還元額のうち半額(現行2千円の半額の1千円)をふるさと登録先の会員へ還元することを提案する。

2)委員会規程を中心とする組織構成に関して(信原業務執行理事)

組織構造の改革にあわせて委員会規程の更新を検討する

3)日本ランキング登録料制度について(糸業務執行理事:全日本大会委員長)

各参加者からエントリー料に少額上乘せして徴収させて欲しい。年間60万円の財政確保にもなる

4)パーマネントコース(以下PC)の今後のあり方について:維持管理、今後のあり方も含め検討していく必要あり

5)次期会長人事について:後任人事の候補者について心当たりがあればお知らせいただきたい

6)JOC 準加盟について:JOCの準加盟団体になること(現在は承認団体)を目指すべきか?

その他

学連理事の次期候補者については早急に選出し、対応する

次回理事会は2024年8月下旬から9月上旬を予定。後日日程調整する

本日のオンラインシステムを併用した会議は、終始異常無く議題の審議を終了したのを確認した。

2024年5月18日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長

代表理事「副会長」 愛場 庸雅

愛場 庸雅 印

議事録署名人

監事 齋藤 宏顕

齋藤 宏顕 印